



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
近畿大阪高等学校
こうのとり認定こども園

令和6年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成29年4月に「姫路大学大学院看護学研究科」を開設。平成30年11月に同研究科博士後期課程への専攻課程変更の認可を受け、平成31年4月開設しました。

豊岡短期大学は平成31年4月に豊岡短期大学姫路キャンパスを開設し、現在豊岡と姫路の2キャンパス制で運営しています。

令和元年11月には、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立。

そして、令和5年3月29日に大阪府より認可を受け、令和5年4月1日より近畿大阪高等学校（狭域通信制）として開校、第一期生を受け入れ、高等学校も運営する学園となりました。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

- 第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」
- 第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」
- 第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」
- 第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」
- 第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 中長期計画

法人の中長期計画の理念、目標、基本方針、主要対策は以下の通りです。

期間：令和2年度から令和7年度

●理念

建学の精神である

「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を実現する

●目標

- I 実践的教育による学生の育成
- II 質の高い研究成果の社会的還元
- III 教育資源による地域貢献、企業貢献及び国際貢献
- IV 教育・研究活動を維持する環境の整備

●基本方針

- I-1 (1) 教育の付加価値向上
- I-2 (2) キャリア教育の充実
- II-1 (3) 特色ある研究によるプレゼンスアップ
- III-1 (4) 地域の知的・実践的拠点として発信力向上
- III-2 (5) グローバル人材の育成
- IV-1 (6) 効果的な広報活動による入学志願者の増加
- IV-2 (7) 財政基盤の安定化とガバナンスの強化

●主要対策

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1-1 教育力の向上 | 1-2 教育効果の可視化 |
| 2-1 社会人力の向上 | 2-2 専門職への就職率向上 |
| 3-1 外部資金による研究の充実 | 3-2 研究成果の向上 |
| 4-1 教育・研究の地域への発信 | 4-2 自治体、企業等との連携強化 |
| 5-1 語学力の向上 | 5-2 国際交流の推進・強化 |
| 6-1 広報活動の質向上 | 6-2 入試制度改革 |
| 7-1 収入増加と管理経費抑制 | 7-2 組織改革と基幹人材育成 |

中長期計画とその進捗状況の詳細は、本法人のホームページに記載しております。

<https://koutoku.ac.jp/info/>

○令和3年度短期大学認証評価の結果について

豊岡短期大学 評価HP

<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/kouhyou/daisansha/>

○令和2年度大学評価（認証評価）結果について

姫路大学 評価HP

https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/evaluation_report/

○主な教育・研究の概要

本学園のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）は、それぞれホームページにて公表しております。

- 姫路大学：https://koutoku.ac.jp/himeji/university/educational_policy/
同通信教育課程：https://koutoku.ac.jp/himeji/class/tuusinkyouiku_katei/educational_policy
姫路大学大学院：<https://koutoku.ac.jp/himeji/daigakuintop/>
豊岡短期大学：<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/policy/>
近畿大阪高等学校：https://koutoku.ac.jp/kinkiosaka/guide/admission_policy/
こうのとりの認定こども園 <https://koutoku.ac.jp/kodomoen/>（園の教育概要等）

(2) 予算編成の基本方針

令和6年度予算編成における基本方針とその概要について

令和5年11月21日
弘徳学園 法人本部

○令和6年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません、そのことは、中・長期計画と財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、学園の中期計画を基に、令和6年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えること、累積赤字の圧縮にむけ単年度収支の改善に努めることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

(3) 主な事業の目的・計画等

① 中長期計画に基づく令和6年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
6- 1	法人本部	決裁システムXpointの導入	1,400
6- 2	姫路大学	看護学部グローバルヘルス看護領域海外研修実施について	1,200
6- 3	姫路大学	看護学部デジタル教科書導入に向けた教員の教育力の向上について	700
6- 4	姫路大学	助産学実習Ⅰ・Ⅱ備品購入	1,101
6- 5	姫路大学	2号棟給水加圧No.3ポンプ取替	770
6- 6	姫路大学	LL教室パソコン等入替	4,000
6- 7	姫路大学	教学系無線ネットワーク構築	48,400
6- 8	姫路大学	情報処理室プリンター入替	1,500
6- 9	姫路大学	1号棟1階インフォメーション・食堂空調機更新工事	26,950
6- 10	姫路大学	中央監視設備部品交換	1,901
6- 11	姫路大学	駐車場整備工事	10,000
6- 12	姫路大学	姫路大学SNS運用代行委託	2,300
6- 13	姫路大学	姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援	6,253
6- 14	姫路大学	姫路大学看護学部国家試験対策	11,909
6- 15	姫路大学	ラーニングコモンズ設置	798
6- 16	姫路大学	姫路大学市民公開講演会	680
6- 17	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営業務委託	15,000
6- 18	姫路大学	姫路大学サッカー部運営業務委託	3,720
6- 19	姫路大学	U n i V i s i o n システム改修	2,500
6- 20	豊岡短大	豊岡短期大学(豊岡キャンパス・姫路キャンパス) 公開講座事業	1,247
6- 21	豊岡短大	豊岡短期大学(豊岡キャンパス) 電話機および電話交換機等機器一式入替	4,850
6- 22	豊岡短大	豊岡短期大学(姫路キャンパス) 旧2号棟屋内消火栓ホース取替	605
6- 23	豊岡短大	豊岡短期大学(豊岡キャンパス) 本館GHP空調設備および図書館空調設備改修工事	80,300
6- 24	豊岡短大	和花季ひろばの開催について	1,121
6- 25	こども園	こうのとり認定こども園電話機入替	300
6- 26	こども園	こうのとり認定こども園事務用ノートパソコン入替	2,025
6- 27	こども園	こうのとり認定こども園屋上パラペット修繕	1,532
6- 28	姫路大学	新入生歓迎会の実施について	9,000
6- 29	姫路大学	西門通路照明改修工事	3,000
		事業費合計	245,062

② 中長期計画に基づく令和6年度事業計画に係る事業等の概要は下記のとおりです。

(6-1) 決裁システムXpointの導入

担当理事制度導入に伴い、姫路・豊岡・大阪間での決裁書のやり取り、関連理事決裁に伴う学外理事との連携の充実、効率化の推進、また検索性の向上や決裁速度のスピード化、ペーパーレス化による業務削減などの観点から、オンラインによる決裁システムを導入します。

(6-17) 姫路大学硬式庭球部運営業務委託費

姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れており、国際基準のコートを4面整備し、部員の対外試合の移動に必要な車両を準備するなど選手育成を図ってきました。

平成29年度に関西学生リーグ1部へ昇格。平成30年度から国体にも出場、令和5年度に開催された関西学生新進テニストーナメント女子シングルスにて、優勝を飾り、公式戦を華々しくスタートさせました。

本年度も引き続き遠征も含めた運営業務を委託し、育成選手の強化を図る計画です。

(6-18) 姫路大学サッカー部運営業務委託費

デフ(ろう者)サッカーとは、聴覚障がいのある人が行うサッカーのことです。

姫路大学では、令和3年4月にデフ(ろう者)サッカー部を設立、姫路大学教育学部通信教育課程の学修制度を活用し、聴覚障がいを持つ学生に向けて、修学支援および課外活動の支援を継続して行う計画です。

また、併せて地域貢献活動への展開も図る予定です。

(6-2) 看護学部グローバルヘルス看護領域海外研修実施について

看護学部開学から取り組んできたグローバルヘルス看護における海外研修を、令和5年度にカナダビクトリア大学で実現することができました。

グローバル社会に必要な看護人材の育成をさらに強化するため、学生の経済的負担が比較的抑えられるアジア圏での研修を実施し、一人でも多くの学生が海外研修に取り組める教育環境づくりを進めます。

令和6年度は夏休み期間にインドでの研修を計画しており、教員3名が引率を行い、異文化教育、看護研修を実施する計画です。

(6-3) 看護学部デジタル教科書導入に向けた教員の教育力の向上について

看護学部ではデジタル教科書を用いた授業を実施する計画です。

この計画を実現化する上で、デジタル教科書導入に向けた教員の教育力の向上を図る必要があるため、iPadの整備を行います。

(6-12) 姫路大学SNS運用代行委託

姫路大学におきまして、X (Twitter) 、Instagram、LINE、YouTubeで公式アカウントを取得しており、また新たにTikTok公式アカウントの取得も計画しています。

SNSを効果的に運用するため、投稿企画や投稿文制作・画像制作・投稿代行など、SNS運用で発生する業務を外部委託する計画です。

(6-28) 新入生歓迎会の実施について

姫路大学では、新入生歓迎会を両学部の新入生と4年生を対象として、テーマパーク (U S J 等) にて1泊2日の予定で実施し、学生間及び教職員との親睦を図る計画です。

>>施設設備等に関する事業

姫路大学整備関係事業

(6-4) 助産学実習Ⅰ・Ⅱ備品購入

助産学実習において重要となる、フィジカルアセスメント技術の実習前訓練を行い、実習現場でスムーズな内診を行うことを目的に内診モデルを活用した内診トレーナーを整備する計画です。

(6-5) 2号棟給水加圧No.3ポンプ取替

姫路大学新2号棟の給水を安定的に行うため、加圧ポンプの修理を行います。

(6-6) LL教室パソコン等入替

姫路大学LL教室のパソコンのリプレースを行う計画です。

(6-7) 教学系無線ネットワーク構築

姫路大学において、看護学部では、インターネットを利用した実演映像の視聴や国家試験対策の演習問題への取り組み、教育学部では小学校でのICTを使用した授業展開が必須となるなど、情勢に対応した質の高い大学教育を行うため、無線ネットワークの構築を計画しています。

(補助金申請予定事業)

(6-8) 情報処理室プリンター入替

姫路大学の情報処理室にて、授業用プリンターの更新整備を行います。

- (6-9) 1号棟1階インフォメーション・食堂空調機更新工事
姫路大学の教育環境整備のため、1号棟で現状最もエアコン効率の悪い1階インフォメーションコーナー及び食堂の空調機器更新事業を計画しています。
(補助金申請予定事業)
- (6-10) 中央監視設備部品交換
姫路大学の新2号棟事務室中央監視設備は、電力、動力、照明を一元管理するための設備であり、安全配慮の観点から、部品の交換作業を計画しています。
- (6-11) 駐車場整備工事
姫路キャンパスへの通学環境を整備するため、大学構内に駐車場を新設する計画です。
- (6-19) UniVision システム改修
姫路大学通信教育事務課で使用している教務システムについて、必要なカスタマイズを行う予定です。
- (6-29) 西門通路照明改修工事
姫路大学の西門通路の照明設備を修理し、学生及び教職員の利便性向上と防犯対策を図る計画です。

豊岡短期大学整備事業

- (6-21) 豊岡短期大学(豊岡キャンパス) 電話機および電話交換機等機器一式入替
豊岡短期大学の電話交換機および電話機は導入から10年以上が経過し部品の生産も終了しているため、電話機の不具合が生じても修繕ができない状態となります。大学と学生、学習サポート校などをつなぐ大事なツール確保のため、電話機及び電話交換機等機器一式の入替を行う計画です。
- (6-22) 豊岡短期大学(姫路キャンパス) 旧2号棟屋内消火栓ホース取替
安全配慮の観点から、旧2号棟(豊岡短期大学姫路キャンパス)の屋内消火栓ホースを取替する計画です。
- (6-23) 豊岡短期大学(豊岡キャンパス) 本館GHP空調設備および図書館空調設備改修工事
気候変動の激しい昨今の状況を鑑み、本館のGHP空調を全面的に更新するとともに、図書館の既存空調設備を本館と同じくGHP空調へ新設する工事を行い、教育・研究環境の向上を図る計画です。
(補助金申請予定事業)

このとり認定こども園整備事業

(6-25) このとり認定こども園電話機入替

このとり認定こども園の電話交換機および電話機は導入から10年以上が経過し、部品の生産も終了しているため、電話機の不具合が生じても修繕ができない状態となります。園と園児家庭をつなぐ大事なツール確保のため、電話機及び電話交換機の入替を行う計画です。

(6-26) このとり認定こども園事務用ノートパソコン入替

こども園事務用のノートパソコンのリプレースを行い、ICT化への対応を図る計画です。

(6-27) このとり認定こども園屋上パラペット修繕

安全配慮の観点から、園舎の屋上パラペットの落下事故を未然に防ぐため、屋上パラペット修繕工事を実施する計画です。

>>学生のキャリア支援に関する事業

(6-13) 姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援

姫路大学教育学部では教員採用試験対策が最重要課題です。教員採用試験対策は、3年生を対象に学内の教員が、面接指導や模擬授業指導および筆記試験対策を行っています。加えて、教員採用試験を目前に控え、教員採用試験にかかる学習の最終チェック、各学生の弱点の把握およびその補強を行い、学生の採用試験までの効率的な学習に役立てるために学外にアウトソーシングを行う計画です。

また、複数の教員採用試験の受験を推奨しているため、遠方での受験に対し、学生の経済的負担軽減の観点により、二次試験以降の交通費等の補助を引き続き行う計画です。

(6-14) 姫路大学看護学部国家試験対策

看護学部の重要課題は看護師国家試験対策にあります。看護師国家試験合格率100%を目指し、看護学部全学年の全学生を対象として、学外の専門講師による集中講義ゼミや模擬試験を行うとともに、特に4年生には個々の学生の学習進度に応じ、補講や個人指導などをきめ細かく行っていく計画です。

(6-15) ラーニングコモンズ設置

現在の大学教育において、学生が様々なメディアを活用しながら自主的に学習するだけでなく、学生同士が協同しグループワークを行い、様々なICT機器を活用して資料を作成し、プレゼンテーションをする空間の必要性が高まっています。個の学習の他、会話やディスカッションが可能な共同学習を行うことができる、アクティブ・ラーニングを推進するための教育環境の整備を進める計画です。

>>学術・研究・発表関連事業

(6-16) 姫路大学市民公開講演会

研究センターでは、「子どもから高齢者まで、健康と発達の向上にむけた研究および支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」を目的とし、啓発活動を行うため市民公開講座を計画しています。公開講座や公開講演会は、大学の使命としての社会や地域への支援や貢献を果たすとともに成果を広く社会や地域に公開することが可能です。

これまで広く市民を対象に、アクリエひめじ等で、市民公開講演会を行っており、令和6年度も市民公開講演会を開催し、社会や地域への支援・協賛に力を入れる計画です。

(6-20) 豊岡短期大学(豊岡キャンパス・姫路キャンパス) 公開講座事業

豊岡短期大学では、地域の「知」の拠点として、豊岡・姫路の両キャンパスで親子で参加できる講座、子どもの福祉を考える機会となる講座を実施する計画です。

また、公開講座のうち「特別講演」は、その運営について地域の高校生をボランティアに募り、将来の保育者養成にもつなげるべく、令和6年度は豊岡キャンパスで開催する計画です。

(6-24) 和花季ひろばの開催について

豊岡短期大学では、学生の学修成果の発表の場として、双方向的表現活動による異世代間交流を但馬地域のこどもたちと保護者、本学学生が集い行う「育ち合いのなかまづくり」と、地産地消をテーマに地元但馬地域の魅力ある特産の食を地域住民とともに楽しむ催し物「食のフェア」を、和花季ひろばとして実施する計画です。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関として認定されました。
この制度の他にも、授業料等を減免する形で、様々な本学園独自の奨学金制度を設け、学生の修学サポートを行っています。
- ・ こうのとりに認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
その他にも、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、地域の子育てに関する支援事業を行う予定です。

- ・ 近畿大阪高等学校では、学外から様々な職種の講師を招き、生徒自身が自ら探求し興味を広げ、自身の進路選択の一助とするため「トライアルアワー」を実施しています。

(4) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、中長期計画に基づき計画いたします。

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	R 6 年度予算	R 5 年度予算(補正)	増 減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
学生生徒等納付金収入	1,996,587	2,063,785	△67,198	2,195,957	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	43,379	44,860	△1,481	43,726	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	0	
補助金収入	525,140	456,870	68,270	546,008	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	101	△101	236	
付随事業・収益事業収入	21,614	25,605	△3,991	31,705	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	15	537	△522	14	・受取利息
雑収入	36,831	104,011	△67,180	103,637	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	285,669	294,681	△9,012	223,949	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	73,633	87,932	△14,299	76,033	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△297,706	△265,678	△32,028	△324,554	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,211,505	1,348,579	△137,074	1,458,301	・前年度末の現金預金
収入の部合計	3,896,667	4,161,283	△264,616	4,355,012	

支出の部	R 6 年度予算	R 5 年度予算(補正)	増 減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
人件費支出	1,730,332	1,783,888	△53,556	1,678,312	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	800,449	735,837	64,612	732,331	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	310,091	294,772	15,319	305,450	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	41,500	15,620	25,880	196,143	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	129,177	25,538	103,639	114,150	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	173,822	227,359	△ 53,537	170,766	・前期末未払金の支払等
予備費	10,000	10,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△99,862	△143,236	43,374	△190,719	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	801,158	1,211,505	△410,347	1,348,579	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,896,667	4,161,283	△264,616	4,355,012	

※ 科目ごとに千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
①教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,996,587	2,063,785	△67,198	2,195,957	・授業料、入学金、実習料等の納付金
		手数料	43,379	44,860	△1,481	43,726	・入学検定料等の手数料
		寄付金	0	5,246	△5,246	2,861	
		経常費等補助金	525,140	456,870	68,270	546,008	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
		付随事業収入	21,614	25,605	△3,991	31,705	・補助活動収入他
		雑収入	36,831	104,005	△67,174	102,943	・コピー代等その他の収入
		教育活動収入計	2,623,551	2,700,371	△76,820	2,923,200	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
		人件費	1,740,292	1,798,811	△58,519	1,678,367	・本俸他、退職給与引当金繰入額
		教育研究経費	1,006,805	946,777	60,028	921,424	・教材等教育研究経費及び減価償却
		管理経費	332,235	320,067	12,168	329,623	・教研費以外の管理経費と減価償却
		徴収不能額等	0	0	0	0	
		教育活動支出計	3,079,332	3,065,655	13,677	2,929,413	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
教育活動収支差額			△455,781	△365,284	△90,497	△6,214	教育活動における事業活動収入と支出の差額
②教育活動外収入の部	収入の活動	科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
		受取利息・配当金	15	537	△522	14	・預金利息
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	15	537	△522	14	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
支出の活動	支出の活動	科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
		借入金等利息	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
教育活動外収支差額			15	537	△522	14	財務活動における事業活動収入と支出の差額
④ 経常収支差額			△455,766	△364,747	△91,019	△6,200	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額
③特別収入の部	収入の活動	科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
		資産売却差額	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	5,116	△5,116	11,681	
		特別収入計	0	5,116	△5,116	11,681	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入
	支出の活動	科目	R6年度予算	R5年度予算(補正)	増減	参考値(R4年度決算)	令和6年度予算概要
		資産処分差額	5,612	1,939	3,673	5,106	・固定資産の除却・廃棄損
	その他の特別支出	0	2,589	△2,589	6,123		
	特別支出計	5,612	4,528	1,084	11,230	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出	
⑤ 特別収支差額			△5,612	588	△6,200	452	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額
〔予備費〕			10,000	10,000	0		
基本金組入前当年度収支差額			△471,378	△374,159	△97,219	△5,748	◎⑥事業活動収入と⑦支出の差額
基本金組入額合計			△124,206	△50,035	△74,171	△264,049	・第1号基本金及び第4号基本金の合計
当年度収支差額			△595,584	△424,194	△171,390	△269,797	
前年度繰越収支差額			△4,153,418	△3,729,224	△424,194	△3,459,427	・前年度から引継の収支差額
基本金取崩額			0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額			△4,749,002	△4,153,418	△595,584	△3,729,224	・翌年度へ繰越す収支差額
(参考)							
⑥ 事業活動収入計			2,623,566	2,706,024	△82,458	2,934,895	・①～③事業活動収入の計
⑦ 事業活動支出計			3,094,944	3,080,183	14,761	2,940,643	・①～③事業活動支出と予備費の計

※ 科目ごとに千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※事業活動収支とは

事業活動収支とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を事業活動支出とし、この収入と支出について事業活動の内容により区分して計上し、基本金組入後の収支の均衡状態を明らかにすることを目的として作成するものです。

事業活動の区分は、①教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と②教育活動外収支（経常的な財務活動等）と③特別収支（特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支）の3つに区分されます。

また、①と②は経常的な経費として経常収支に区分し、特殊な要因（特別収支）を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額を④経常収支差額とし、③特別収支では臨時的な事業活動収入と支出の差額を、⑤特別収支差額として明示しています。

そして、⑥は事業活動収支における収入の合計、⑦は事業活動収支における支出及び予備費の合計であり、この⑥から⑦を差し引いた額が、基本金組入前当年度収支差額と同じ金額となります。

※12ページの②事業活動収支予算の状況に、①～⑦の番号を付して表示

③ 予算概要の説明

学園中長期計画の理念・目標に基づき、基本方針に掲げている財政基盤の安定化を図るべく、主要対策の収入増加と管理経費抑制の取組に配慮して、事業計画及び經常予算を編成しております。

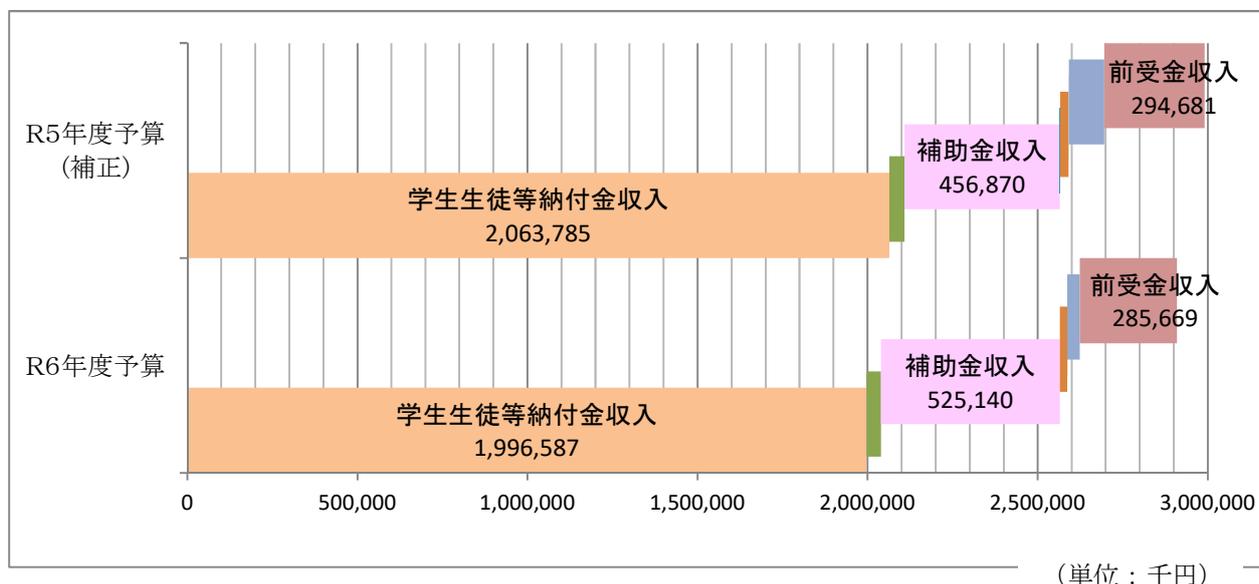
資金収支予算について

令和6年度の資金収支予算では、学園全体の整備計画により、空調機器の入替、無線ネットワークの構築、PCの入替、駐車場整備など大型の設備投資に係る経費を予算化した結果、現金預金（翌年度繰越支払資金）は、前年度より大幅に減少する見込みです。

令和6年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は8億1百万円で、令和4年度決算から5億4千7百万円の減少、前年度補正予算から4億1千万円の減少を見込んでいます。

（単位：百万円未満切捨）

資金収支収入予算における前年度収入予算（補正）との比較



事業活動収支予算について

令和6年度の事業活動収支予算では、学園の整備計画に伴い、空調機器の入替、駐車場の整備、無線ネットワークの構築、PC入替など大型の設備投資を予算化し計上したため、前年度に引続き単年度収支が支出超過の見込みとなり、翌年度繰越収支差額の支出超過額を圧縮できない見込みです。

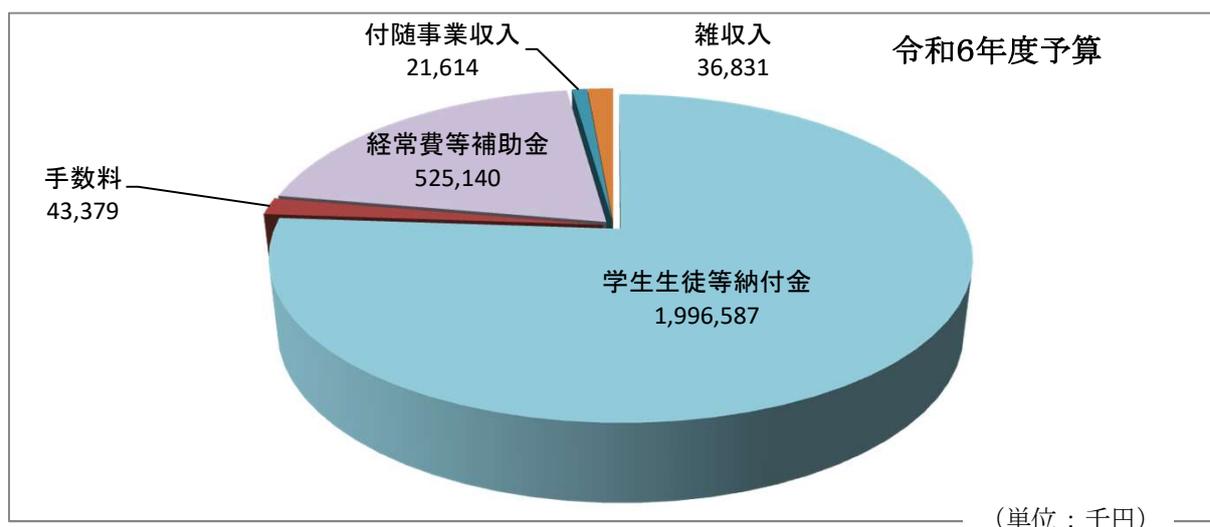
令和6年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、△4億5千5百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、△4億7千1百万円となる予測です。

この差額に、基本金組入額 △1億2千4百万円を加算した額が、当年度収支差額となり、△5億9千5百万円の支出超過の状態となる予測です。

よって、前年度繰越収支差額に当年度収支差額を加算した翌年度繰越収支差額は、△47億4千9百万円の累積の支出超過となる見込みであり、引き続き累積の支出超過を圧縮できない見込みとなります。

(単位：百万円未満切捨)

事業活動収支予算における収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

